

平成30年度東備西播定住自立圏構想推進事業「民間イベント等事業推進支援決定一覧」

受付番号	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	赤穂市、上郡町、備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会	10月に備前市吉永町B&G海洋センターで開催する大会を通じ、2市1町のグラウンド・ゴルフの技術向上や仲間づくりを推進します。また、高齢者の生きがいづくりに貢献します。
	備前市吉永町グラウンド・ゴルフ連盟	
2	東備西播定住自立圏城市町第9回親善ゲートボール大会	ゲートボール愛好者及び高齢者の健康増進と圏域住民の交流・親睦を図ることを目的に、9月に備前市吉永町B&G海洋センターでゲートボール大会を開催します。
	東備西播定住自立圏城市町ゲートボール協議会	
3	忠臣蔵交流囲碁大会及びこども囲碁教室の開催	2市1町の囲碁愛好家が連携し、12月に赤穂市文化会館において忠臣蔵交流囲碁大会を開催し、毎月1回、赤穂楽基会囲碁サロンにおいて月例ふれあい囲碁大会を開催するとともに、囲碁を次世代に伝承するため、毎週1回、こども囲碁教室を開催します。
	忠臣蔵交流楽基会	
4	戦国武将よろいカブト交流事業2018	圏域内の歴史資源を活かした文化交流を図るため、赤松円心ゆかりの地らしく、親子などで手づくりのよろいカブトを作成し、11月の「白旗城まつり」12月の「赤穂義士祭」などにおいて行列を披露します。
	赤松手作り鑑・兜の会	
5 新規	第9回ジャズ・チャレンジ・コンサート	一流ミュージシャンを招聘してレクチャーを受け、体で感じて楽しく、上手下手に関係なく、奏者のその時の気持ちを素直に即興で表現します。
	3Mプロジェクト協議会	
6	有年の里1日美術館とコンサート	東有年堤防等で花壇等の世話をを行い、春夏秋冬、花が咲き乱れる美しい有年を近隣地域に発信すべく、9月に1日美術館とコンサートを開催します。
	有年の里花いっぱいになあれの会	
7	第5回AKBカップ バasketボール大会	2市1町の友好親善とスポーツ交流を目的に、1月に赤穂市民総合体育館でBasketボール大会を実施します。
	赤穂市Basketボール協会	
8	第6回赤穂市・備前市・上郡町定住自立圏推進交流ターゲットバードゴルフ大会	11月に千種川河川敷において開催するターゲットバードゴルフ大会を通じ、2市1町の交流を図るとともに、生涯スポーツとして健康づくりに寄与します。
	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	
9 新規	灯台フォトコンテスト協賛事業	海上保安庁の御埼灯台を中心とするフォトコンテストに関連して、デジタル版フォトコンテストを開催し、10月に入賞者展示会を行い、御埼灯台を観光スポットとして広く発信を行います。
	御埼灯台を守る会	
10 新規	第4回ほっとたいむミュージックセラピーコンサート	音楽療法の普及と発展を願い、少しでも多くの方に音楽の持つ力を体験していただき、生活の質の向上と健康の保持・増進を目指すことを目的として、ミュージックセラピーコンサートを開催します。
	音楽療法研究会 ほっとたいむ	
11	東備西播テニス交流大会	2市1町のスポーツ振興と交流を図ることを目的に、7月に赤穂海浜公園テニスコートでテニス教室及びテニス大会を実施します。
	赤穂市テニス協会(備前市テニス協会)	
12	第9回赤穂市・備前市・上郡町定住自立圏推進交流中学軟式野球大会	2市1町のスポーツ交流を目的に、上郡町1中学校、赤穂市5中学校、備前市5中学校の11チームにより、9月に赤穂城南緑地公園野球場及び上郡町スポーツセンター野球場において軟式野球大会を開催します。
	赤穂軟式野球協会	
13	オレンジリボンキャンペーン 2018親子ふれあい広場	赤穂城南緑地公園で遊びや工作教室開催し、児童・青少年健全育成活動を行います。また、児童虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンを広く周知するために、赤穂海浜公園でオレンジリボンキャンペーンを11月に開催します。
	赤穂市地域活動連絡協議会	
14 新規	おすそわけCafeととて	認知症のあるなし、障がいのあるなしに関わらず気軽に立ち寄れる場所を提供するため、「おすそわけCafeととて」を開設し、月1回、作業療法士とボランティアで認知症啓発等の活動を行い、誰もが集まれる居場所を作ることで、人にやさしい街づくりを目指します。
	おすそわけCafeととて	
15 新規	RUN伴兵庫ゴールイベント	認知症啓発イベントであるRUN伴(認知症の人と伴にタスキを繋ぎ北海道から沖縄までを縦断するタスキリレー)にエントリーし、赤穂市だけでなく、上郡町、備前市の方にも広く認知症の啓発を行うことを目的とします。
	RUN伴あこう実行委員会	
16	上郡ダンスフェスティバル ～K・D・F～	7月に、上郡町B&Gスポーツセンターサブグラウンドにおいて、近隣のダンスチームによるヒップホップダンスの披露等と、農作物や伝統芸能などの地域資源をPRするイベントを実施します。
	特定非営利活動法人 円心	

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	吉永町グラウンド・ゴルフ連盟	活動名	赤穂市・上郡町・備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会
-----	----------------	-----	-------------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 備前市吉永町吉永中B&G海洋センター グラウンド	② 実施期間 自 平成30年10月19日 至 平成30年10月19日
③ 実施体制 ・団体構成員 22名 ・一般参加者 341名 ・ボランティア 名 ・ 名 ・ 名 計 363名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) 平成30年2月28日に赤穂市・上郡町・備前市(備前地区、日生)の連盟会長と第3回大会について電話、面談による協議を行いました。 開催日、開催場所、参加人数等の了解が得られたので、それぞれの会長に同年3月4日に文書による案内をした。 同年7月2日に、開催要項、大会申込書をそれぞれの会長に送付し、募集をした。 参加目標を、赤穂市が120人、上郡町を60人、備前市を200人とした。 同年10月19日に、当初予定していた参加人数を若干下回り、363人の参加の基、8ホール×3ゲーム24ホールストロークプレーを実施した。 表彰については、1位～15位及び15位タイ賞を授与した。その他に抽選でラッキー賞60個及び参加賞を全員に授与した。 ホールインワン賞も授与しましたが、100円のホールインワン基金を頂き、基金の合計額を岡山県グラウンド・ゴルフ協会に送金した。 大会終了時間は、16時30分でした。 来賓は、備前市市長様の代理、企画課長様、岡山県議会議員様の代理、奥様にお越しいただき、ご挨拶がありました。市長、県議様いずれも所用があり出席がなかった。 添付資料は、プログラム・成績表を添付しますのでご参照を下さい。	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

大会要項に掲げている趣旨の通り、生涯スポーツの普及が十分に図られた。

そして、大会の所期目的は十分達成することが出来ました。

大会を通じて技術向上も図られ、3地区の参加者相互の親睦と交流が充分図られ、大きな成果があった大会となりました。

第1回大会254名、2回大会313名、今回第3回大会363名と回数を追ううちに参加者が増加しました。マンネリ化を懸念していましたが、多数の参加の基、成功裏に大会を終えることが出来ました。

② 今後の課題

備前市グランド・ゴルフ主催・吉永GG連盟主管にて、第1回、2回大会とも、吉永町の地で開催するに至りましたが、これは、グラウンド状態、広さ、駐車場、大会経験を勘案したもので、次回については、本大会終了後に各会長が集まり、協議した結果、大会の継続が重要であり、特に開催を希望される連盟を優先して実施する事となりました。来年度の開催募集時期が来たら、再度、各連盟が集まり協議して決定する事となった。なお、次回開催場所については、吉永町GG連盟ではスタッフが少なくなり、吉永以外で実施するようお礼状に追記しました。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
参加料(500円×36 3人)	181,500円	*参加賞・ラッキー賞・ ホールインワン賞	119,000円 ①
ホールインワン基金	17,600円	*7位~15位・同打賞 の賞品代	18,500円 ②
行政からの助成金	190,000円	*1位~3位までのト ロフィー代	18,000円 ③
		*1位~6位までの賞 品代	11,000円 ④
		参加賞(弁当)	174,240円 ⑤
		*1日傷害保険料	6,897円 ⑥
		*コピー用紙代	926円 ⑦
		*文具代	3,197円 ⑧
		*旗、ポールスタンド	2,350円 ⑨
		*郵送料	790円 ⑩
		*コピー代・プリント代	3,017円 ⑪
		*プリンターインク代	5,043円 ⑫
		*役員パン代他 事務費	3,540円 ⑬
		*H・O基金県協会へ送 金	5,000円 ⑭
			17,600円 ⑮
合 計	389,100円	合 計	389,100円

対象外(納付済)

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	東備西播定住自立圏域市町GB 協議会	活動名	第9回親善ゲートボール大会
-----	-----------------------	-----	---------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 備前市吉永町B&G海洋センター	② 実施期間 自 平成30年11月15日 至 平成30年11月15日
③ 実施体制 ・団体構成員 213 名 ・一般参加者 8 名 ・ボランティア 2 名 ・ 名 ・ 名 計 223名	

④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)

- 1月19日 赤穂市民会館にて前年度開催地より継続受ける
- 2月22日 備前市GB連盟 理事会開催
大会の素案の打ち合わせ
- 3月6日 南方会館にて大会の予算打ち合わせ
- 3月23日 備前市役所体育協会申請書依頼
- 4月21日 イベント推進支援審査会に出席
支援金額142,000円に 決定
- 5月10日 第1回 3市町の実行委員による大会開催日時 内容打ち合わせ
備前市GB連盟の主管で備前市三石支所会議室開催する。
- 6月14日 第9回親善ゲートボール大会開催案内を発送す
- 8月6日 備前市GB連盟理事会開催 実行委員による参加チーム数の確認
各市町より大会参加チームの確認
近隣市町に参加要請
上部団体に後援依頼、来賓招待者への御案内
- 8月25日 備前市GB連盟理事会開催
大会開催の準備書類等の確認 対戦チームの組み合わせ抽選実施
大会当日の大会役員の役割分担等の打ち合わせ
- 9月19日 大会プログラム制作
- 9月20日 備前市GB連盟役員会開催し22日雨のためグランドコンディションが
悪く開催を中止し10月8日に順延することに決める
3市町代表に連絡し、各チームとも出場できるかの確認をお願いした
参加賞 賞品 の仕分けを行う
- 10月4日 一部変更有ったが予定通りの参加数となりプログラムのやり直しをする
- 10月6日 役員集合台風の接近上陸の可能性あり今回も中止し11月15日に再度
順延する事に決める3市町代表に連絡
- 11月11日 関係役員で組合せ抽選 を行う
- 11月14日 大会役員で会場準備

11月15日 ゲートボール大会実施

赤穂市市長明石様 備前市長田原様 岡山県議会議員内山様 岡山
県GB協会会長池田様を迎え、40チーム 213名の参加を得て第
9回親善大会を 開催した。

国会議員よりメッセージを戴きました 皆さんに披露させていただきました。

12月6日 第2回協議会開催 反省会と次年度開催の打ち合わせを行う。

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

当日は朝から晴天で絶好のゲートボール日和で気持ちよく試合が出来ました、3市町及び近隣のゲートボール愛好者が待ちに待った顔ぶれが再開できたことで楽しんで頂いたと思います

ゲートボール連盟の皆さんの協力で何事もなく無事に終了することが出来ました。

今回は公民館のうぐいす嬢と、救護班では救急車の配備をし、市民の協力により競技を盛り上げて頂きました。

気分を悪くしたり、怪我をする人もなく無事に閉会式を行うことができました。主催者としては成功裏に大会を終えることができました。

② 今後の課題

全般的に高齢者が増え体調を崩す人がありゲートボール人口が減少気味になり、チーム数も減りつつある。

今後はトリプルマッチの検討する時期とも思われる 将来的には考える必要がある。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
推進協議会助成金	142,000円	*運営会議諸費用	30,321 29,991円
9回大会参加費 (3,000円×40)	120,000円	*通信費	2,858 3,188円
前回繰越金	41,072円	*用具費	1,080円
		*大会費	214,908円
		(参加賞品他)	
		*消耗品	3,048円
		(得点表 オーダー表他)	
		事務用雑費	10,071円
		次回繰越金	40,786円
合 計	303,072円	合 計	262,286円 303,072

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類1)

イベント等事業実績報告書

団体名	忠臣蔵交流楽碁会	活動名	忠臣蔵交流囲碁大会及び こども囲碁教室の開催 他
-----	----------	-----	-----------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域)	② 実施期間 (開催準備期間を含む)
1) 忠臣蔵交流囲碁大会 予選大会 赤穂市文化会館 小ホール、展示室 決勝大会 赤穂市文化会館 展示室	平成 30 年 5 月 1 日より準備に着手し囲碁大会は 平成 30 年 12 月 1 日開催
2) こども囲碁教室 赤穂楽碁会囲碁サロン	平成 30 年 4 月～平成 31 年 2 月 毎週土曜日 10:00～11:30 開催
3) 赤穂ふれあい囲碁大会 赤穂楽碁会囲碁サロン	毎月 第 2 日曜日 10:00～16:00 開催
4) 花岳寺通り商店街の「土曜夜店」に参加 赤穂楽碁会囲碁サロン	6 月～7 月 土曜日 17:00～20:00 開催

④ 事業実績と成果

1) 忠臣蔵交流囲碁大会

平成 30 年 4 月、赤穂市、上郡町、備前市の囲碁クラブより大会実行委員 21 名を選出し、2 市 1 町の共同推進体制と役割分担を決め準備活動を開始した。

12 月 1 日の大会は参加者 177 名(除く 実行役員、ボランティア)で九州から 2 名、山口県から 1 名の遠隔地からの参加者もあり、年齢的にも上は 90 歳、下は幼稚園児まで老若男女が終日囲碁交流対局を楽しんだ。クラス別参加者の内訳は A クラス(5 段以上)40 名、B クラス(2 段～4 段)67 名、C クラス(初段,1 級～4 級)57 名、D クラス(5 級以下)13 名であった。

また関西棋院の新垣九段、林六段に審判と指導対局をお願いし、参加者から大変好評であった。

当大会は日本の伝統文化である囲碁を通じて、東備西播地区(赤穂市、備前市、上郡町)の地域間交流、世代間交流と地域活性化を推進する目的で開催してきましたが、今回で終了致します。

大会には、東備西播地区だけでなく兵庫、大阪、岡山他 200 名近い参加者があり、大石内蔵助と囲碁の知名度アップにいささか貢献できたと思います。

2) こども囲碁教室(次世代のこどもと父兄およびシルバー世代へ囲碁入門講座開催)

こども囲碁教室は平成 20 年度からスタートし今年で 11 回目となり、延べ 200 人近い子供に教えてきた。今年度は平成 30 年 5 月より、毎週土曜日 10 時～11 時 30 分、赤穂楽碁会囲碁サロンにてこどもと一緒に父兄及び大人の初心者にも囲碁入門講座を開いた。

3) 赤穂ふれあい囲碁大会

近隣の市町の囲碁愛好家に呼びかけ、月例囲碁大会を開催しているが、平成 30 年度は 10 回開催し延べ 373 人参加した。

4) 花岳寺通り商店街の「土曜夜店」

次世代のこどもに囲碁の面白さを PR するために、花岳寺通り商店街の「土曜夜店」イベントに参加し、夕方 6 時より楽碁会囲碁サロンを開放し、囲碁を知らない子に、碁石を使ったゲームで楽しんでもらった。

(添付書類2-2)

第九回忠臣蔵交流囲碁大会支出明細

囲碁大会&こども教室		予算	実績			
費目	使 途 内 容	金額(円)	使 途 内 容	金額(円)	備 考	領収書No
謝金	事業協力謝礼	10,000	大石神社	10,000	大石神社初穂料	1-1
	(小 計)	10,000		10,000		
用品	事務用品	36,000	ハガキ用紙	540	ダイソー	2-1
			ボードマーカー	432	〃	2-2
			タックシール	108	〃	2-3
			修正液	108	〃	2-4
			ペーパーバッグ他	864	〃	2-5
			ペーパーバッグ	108	〃	2-6
			対局時計用電池	1,615	AgroGarden	2-7
			布テープ	387	〃	2-8
	クリーニング代		義士ハッピ	700	多田俊二	2-9
			〃	3,758	ハトヤ	2-10
印刷インク費用	20,000	パソコンインク	17,954	ヤマダ電機	2-11	
		プリンター消耗品	874	エディオン	2-13	
		〃	2,008	〃	2-14	
	(小 計)	56,000		29,456		2-15
通信費	事務連絡用	23,000	募集案内往復ハガキ	24,800	尼崎商店	3-1
				680	日本郵便	3-2
	(小 計)	23,000		25,480		
会場費	会場借用費	80,000	会場借用費	74,970	赤穂市文化会館	4-1
	会場付属設備		付属設備使用料	4,148	赤穂市文化会館	4-2
	対局設備借用費	80,000	碁盤、碁石、対局時計	67,400	関西棋院(含む運搬費)	4-3
	会場設営費	10,000	看板、組合わせ表他	10,000	藤友建設設計事務所	4-4
	(小 計)	170,000		156,518		
委託費	審判及び指導	100,000	審判及び指導費(3名)	90,000	旅費交通費を含む	5-1
		10,000	審判宿泊費	9,200		5-3
	指導対局謝礼			30,000		5-4
	(小 計)	110,000		129,200		5-5
補助対象費目合計		369,000		350,654		
その他 補助 非対象	こども教室講師謝金	77,000	子供教室講師謝金	55,000	講師謝金	1-2
	昼食費	75,000	昼食費(予選)	83,127	主婦の店	1-6
	決勝夕食費	20,000	夕食費(決勝)	18,500	惣菜四七	9-1
	大会打上げ費	10,000	大会打上	3,129	フォーティセブン	9-2
	謝礼 他	10,000	協賛 お礼品	2,640	山野製菓舗	9-3
				5,863	かん川本舗	9-4,9-5
	大会賞品	0	塩味饅頭	7,500	三島製菓	9-6
			お菓子(子供参加賞)	9,750	大黒屋	9-8
		塩ぐいのみ	3,888	赤穂観光協会	9-9	
	補助非対象費目合計	192,000		189,397		9-10
合計	支出総合計	561,000		540,051		9-11

添付書類 イベント等事業実績報告

団体名	赤松手づくり鎧・兜の会	活動名	戦国武将よろいカブト交流事業2018
-----	-------------	-----	--------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 町立赤松公民館・旧岩木幼稚園他	② 実施期間 自 平成30年5月5日 至 平成30年12月14日
③ 実施体制 団体構成員 赤松手づくり鎧、兜の会講師10名 募集参加者10名 合計20名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業) 5月から11月にかけて年20回の教室にボランティアで講師を派遣し11月に甲冑の着付け完成発表会をおこないました。 5月 5日(土) 講座開講式 説明会型取り 12日(土) 兜(型紙パーツの切り出し) 22日(火) 兜(鉢づくり) 6月 2日(土) 兜(布補強ニス及ペンキ) 9日(土) 兜(飾り布張り付け) 26日(火) 兜(組立) 7月 7日(土) 鎧(胴組立) 14日(土) 鎧(胴布補強) 24日(火) 鎧(胴布補強ニス・ペンキ) 8月 4日(土) 鎧(胴飾り布張り付け) 11日(土) 鎧(胴組立) 28日(火) 袖づくり 9月 1日(土) 草づくり 8日(土) 袖・草づくり(布補強ニス・ペンキ) 28日(火) 袖・草づくり(飾り布張り付け) 10月 6日(土) 紐通し 13日(土) 草づくりと胴の組み合わせ 23日(火) 仕上げ 11月 3日(土) 仕上げ 10日(土) 仕上げ完成発表会	
⑤ イベント参加報告 4月29日(土) 西播磨ふるさと特産館GW特別イベント出展 5月 5日(日) 2018相生ペーロン祭パレード参加	

- 7月29日(日) ひょうご博大阪
8月25日(土) イオン(株) 連携事業マックスバリュ SC イベント加古川店参加
9月23日(日) 戦国尼子フェスティバル参加(島根県安来市)
10月13日(土) ひょうご元気むら大交流会参加
21日(日) 姫路市置塩城まつり(夢前町)
11月3日(土) イオン(株) 連携事業マックスバリュ SC イベント上郡参加
11日(日) 上郡町商工会まつり参加
23日(金) 第25回白旗城まつり参加
備前市片上より富田松山城片上甲冑隊・備前ろくろ踊りの39名が
参加
12月2日(水) 第115回赤穂義士祭パレード参加(赤穂市)
赤松地区むらづくりより45名と赤穂市の小学生8名合計53名参
加

⑥ 出前講習会

県立上郡高等学校「社会人基礎Ⅲ」事業指導

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

私立ち赤松地区は、豊かな歴史・観光資源に恵まれた地域も近年若者の転出で過疎化が進み限界集落の地域もある中、以前は苦勞して若者対象とした催しを行っていましたが、今住んでいる人の健康・交流が第1と発想の転換を図ってまいりました。

おかげさまで年間11回のイベントに参加させていただき、子どもに対しては参加希望者に提供・貸出出来るくらいに甲冑の数も増え活動ができました。

各イベントも30人越えの参加となりますので本来厚紙で出来ていますので痛みも沢山でできましたので修理などを施しています。補助金のおかげで修理などの費用にあてさせていただき感謝申し上げます。

今後の課題は、後継者育成で少しでも長く活気のある赤松地区を持続できることと赤穂市・備前市との交流を図りたいと思います。

平成30年度 東備西播定住自立圏民間イベント事業会計報告

収 入

支援金交付決定額
自己資金
合 計

143,000円 /
8,488円 /
151,488円 //

支 出

(円)

月・日	内 容	金 額	支払先	領収NO
5月10日	平紐20,358 振込手数料540 /	/ 20,898	中戸川 /	1
5月22日	カシメ代 (金具) /	/ 16,200	株式会社はな /	2
5月24日	丸紐代1,620 振込手数料540 /	/ 2,160	中戸川 /	3
5月30日	つや出しニス /	/ 3,333	ナフコ /	4
6月17日	厚紙@200×39枚 / 角元@450×11 パイプ@100×11 /	/ 13,850	中西邦明 /	5
6月17日	合皮@2,052×2=4,104 値引411 /	/ 3,693	トーカイ /	6
8月2日	角元@300×10 パイプ@100×20 /	/ 5,000	中西邦明 /	7
8月9日	平紐・耳紐15,066 振込手数料540 /	/ 15,606	中戸川 /	8
8月28日	ハトメ (金具) /	/ 894	コメリ(佐用店) /	9
8月28日	ハトメ /	/ 894	コメリ(作東店) /	10
9月10日	衣装ケース、ナイロン袋 /	/ 3,788	ナフコ /	11
9月27日	ドライペット・衣装ショウノウ /	/ 3,185	ガクザク /	12
9月27日	紐代13,446 振込手数料540 /	/ 13,986	中戸川 /	13
9月16日	サンデーシート・G17 /	/ 2,488	コメリ /	14
10月4日	衣装ケース@1,382×2 /	/ 2,764	ナフコ /	15
10月9日	カシメ代 (金具) /	/ 26,464	日本紐卸貿易株式会社 /	16
11月3日	エプソンプリンターインク /	/ 1,512	ヤマダ電機 /	17
11月29日	ハトメ@410×15 /	/ 6,150	アークオアシス /	18
11月30日	記録写真印画紙 /	/ 5,378	ヤマダ電機 /	19
12月18日	G17 (ボンド) /	/ 1,125	ナフコ /	20
12月20日	記録写真印画紙 /	/ 2,120	ナフコ /	21
	合 計	/ 151,488 //		

収入合計 151,488円 支出合計 151,488円 収支過不足0円

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	3Mプロジェクト協議会	活動名	第9回ジャズチャレンジコンサート
-----	-------------	-----	------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂市文化会館（ハーモニーホール） 小ホール	② 実施期間 自 平成30年8月23日（木） 至 平成30年8月23日（木）
③ 実施体制 ・団体構成員 10名 ・一般参加者 20名 ・赤穂小学校金管バンドクラブ 34名 ・日生中学校吹奏楽部 14名 ・赤穂西中学校吹奏楽部 32名 計 110名	
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。）	
<p>5月 参加校の変更 当初上郡高等学校吹奏楽部の参加を予定していたが、他行事との重複し参加が出来なくなった為 参加校は、赤穂小学校金管バンドクラブ、日生中学校吹奏楽部 赤穂西中学校吹奏楽部 の3校となる</p> <p>6月 共催 赤穂市文化とみどり財団 後援 赤穂市教育委員会、備前市教育委員会、上郡町教育委員会 承認を得る 広報チラシ作成 関係団体、参加校に配布</p> <p>7月 NY在住の高免信喜（ジャズギタリスト）より各校に課題音源が配信される 各校の参加者は、届いた音源を体に覚えさせることに努める</p> <p>7月～8月 各参加校と高免信喜（NY）メール等で情報交換</p> <p>その他 会場レイアウト、進行方法等の打ち合わせ（6/11、7/25、8/6） 楽器運搬 運送会社に依頼（8/7） 台風接近による対応協議、緊急連絡網の準備（8/20）</p> <p>開催日当日（8月23日） 9:00～ 機材搬入、会場設営 10:00～赤穂小学校金管バンドクラブ、日生中学校吹奏楽部 赤穂西中学校吹奏楽部の順にWorkShopを開催する 13:00 台風20号が接近し、兵庫県赤穂市、岡山県備前市に警報が発令されたため 開催予定の公開公演（14:00～15:30）の中止を決定する 13:30 各校 帰路に就く 14:00 スタッフ、関係者解散</p>	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

第9回目を迎えるジャズチャレンジコンサート、今年は赤穂小学校金管バンドクラブ、日生中学校吹奏楽部、赤穂西中学校吹奏楽部の3校が参加してくれました。

事前にNYで活躍するジャズギタリスト高免信喜より提供された音源をもとに、熱心にJazzの即興演奏のチャレンジをしてくれました。

今回は、台風20号が接近し警報が発令されたため生徒の安全を考慮し、残念ながら14:00から開催予定の公開公演を中止しました。

幸いなことに3校とも高免信喜の指導の下、内容のあるワークショップが体験できたことは良かったと思われます。

その努力を公開公演で披露することは出来ませんでした。きっと参加者の記憶に残るワークショップであったと思われます。

今後更に内容のある活動となるように努めて行きたいと思ひます。

② 今後の課題

○参加校の拡大

今年で9回目となるジャズチャレンジコンサート、高免信喜のジャパントアースのスケジュールに合わせて開催時期を組みますので、今年度は8月に実施しました。出来れば東備西播地域の2市1町の希望校を最低1校は組み入れたいと思ひましたが他のイベントと重なり上郡町域の学校が参加できなかったことは残念でした。

○体制の強化

東備西播地区が全国に誇れるイベント、10周年を迎える来年度は参加校の拡大を含めて体制の強化を検討したいと思ひます。

○その他

今回、台風20号が接近したため練習の成果を披露する「公開公演」が開催でき無かったことも悔やまれます。

しかしながら、全国的にも珍しい貴重な経験を参加者の皆さんが出来たことは、良かったと思われます。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
定住自立圏補助金	188,000 /	*謝礼 高免トリオ	200,000 ①
協賛金等	100,000	*宿泊費 高免トリオ	13,500 ②
自己資金	48,026	*会場使用料	33,606 ③④
		*楽器運搬費	30,000 ⑤
		*チラシ作成費	50,000 ⑥
		*通信費	950 ⑦⑧⑨
		*事務用品費	6,233 ⑩⑪⑫⑬
		小計	334,289
		スタッフお茶等	1,737 ⑭⑮
合 計	336,026	合 計	336,026

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	有年の里花いっぱいになれ の会	活動名	有年の里1日美術館コンサート
-----	--------------------	-----	----------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域)	② 実施期間
東有年144-1を中心にした地域	自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日
③ 実施体制	
・団体構成員 15名 ・一般参加者 64名 ・ボランティア 名 ・ 名 ・ 名 計 79名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)	
(1) 東有年堤防花壇の世話	
<ul style="list-style-type: none"> ・5月末 マリーゴールド、ホーチュラカ、サルビアを植える。 ・6月～9月、土手の草刈り、草抜き、水やり。 	
(2) 7月22日(日) 3市町の子ともたちの交流会	
<ul style="list-style-type: none"> ・コスモスの種まき ・暑さのため、自治会館で遊ぶ(絵本の読み語り、ゲーム) ・参加者(上郡町6名、赤穂市13名)計19名。 	
(3) 9月23日(日) 1日美術館とコンサート	
<ul style="list-style-type: none"> ・「ガラスと季節の花」をテーマに写真展とガラス作品展 ・テーマにそってコンサート(ピアノとチェロ) ・参加者79人。(赤穂48人、上郡17人、備前2人、大阪3人、姫路4人、太子4人、佐用1人) 	
(4) 8月9日、学校厚生会主催の第12回「写真公募展、こどもの世界～」において、昨年度の沖田遺跡での交流会で、水遊びをする写真「チョー気もちい」が知事賞となり、受賞挨拶の中で、東備西播定住自立圏民間イベントとして、3地区の子ともたちの交流の中での楽しいショットであることを紹介した。また、赤穂市の沖田遺跡はすばらしいので、訪れて下さりと呼びかけた。(裏面に写真)	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

- ・子どもたちの交流会では、コスモスの種まきの後、暑さ対策として、自治会館での室内遊びとなりましたが、顔なじみの子どもが増え、たのしく交流することができた。幼ない時の遊んだ思い出は、大人になった時のふるさとへの定住促進の礎となるものと思っている。
- ・旧美のガラスと季節の花の写真展では、上郡に定住して、日本全国にガラス作品を発送していることを知ってもらいよかったです。
- ・旧美のコンサートでは、療養中の方やつれ合いを亡くされた方や赤ちゃんを育てている方など、自分ではコンサートに行くことができない方々が多く来てくださり、「生きていく元気をもらった」「来年もよろしく」などのメッセージを下さり、とてもうれしかった。高齢者の方の参加も多かった。
- ・「新聞を見て来ました」と都会から来て下さった人達が、有年の里のよさを味わって喜んでおられ、こちらもうれしく思った。
- ・備前市参加勧誘のため、旧備前市を回り、三石だけでなく伊理、日生方面へ足をのばし、地域がよく分ってきた。

② 今後の課題

- ・子どもたちの行事や台風のため、来られる予定であった備前市の方が、都合が悪くて参加できず、結局2名だけの参加になってしまい、3地区の都合のよい日というのは、設定がむずかしい。
- ・美しい里をめざして、花を地域に植える活動をしているが千種川の川河敷が荒れた状態になっているので、早く整備をして欲しい。また、コンクリート化していない堤防も570mほどあるので、大雨の時はとても心配である。
- ・子どもたちがまいたコスモスの種が、2か月近く雨が降らず、今年は発芽しなくて、残念だった。こんなことは初めてで、子どもたちにお知らせのお手紙を書いた。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
支援金	161,000	(1) コスモス草お返し	2,890 米
会より	15,157	(2) 用紙、文具	844 米
		(3) 写真代	11,853 米
		(4) 混合油	1,280 米
		(5) 切手代	2,260 米
		(6) 印刷費	830 米
		(7) ヒール調律代	16,200 米
		(8) 花束代(4名)	12,000 米
		(9) ヒール演奏料	50,000 米
		ヒール演奏料	10,000 米
		テロ演奏料	40,000 米
		(10) 記念品代(4名)	28,000 米
合 計	176,157	合 計	176,157

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	赤穂市バスケットボール協会	活動名	第5回 AKB カップミニバスケットボール大会
-----	---------------	-----	-------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂市民総合体育館	② 実施期間 自 平成 31 年 1 月 27 日 至 平成 31 年 1 月 27 日
③ 実施体制 ・団体構成員 11 名 ・ボランティア 16 名 ・男子 78 名 ・女子 60 名 計 165 名 地域別内訳(選手のみ)：赤穂市 47 名 上郡町 31 名 備前市 24 名 他 36 名	
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） 平成 30 年 11 月 実施要項作成、送付 12 月 組み合わせ抽選 審判振り分け 平成 31 年 1 月 26 日 コート作成、スタッフミーティング 1 月 27 日 大会実施 ミニバスケットボール（小学生）	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

今回は中学生の部、高校生の部共に日程が合わずミニバスケットボール（小学生）のみの開催であったにも関わらず、前回並みの参加者が確保できたことはこの大会が近隣地区で認知され、定着化が進んでいるものと考えます。

加えて、実施場所が赤穂市民体育館で暖房設備も整い、観客（父兄他）が楽しんでゆっくり観戦できる場を提供できることは東備西播地区の近隣大会にない有利な点となっています。

② 今後の課題

従来よりの参加チームからも大会の存続を強く希望され、新しいチームの参加希望もある中、交付金の減額で大会自体を存続できるかどうかを思案中です。

また、前回実施した中高生部門の復活をとの依頼もあり日程調整、開催場所と審判の確保他課題は多くありますが、協会として大会の存続に向け努力してゆくつもりです。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
交付金	163,599	景品(トロフィー) ①	11,856
		景品(ボール) ②	9,525
		参加賞(缶バッジ) ③	27,540
		振込手数料 ④	108
		体育館使用料 ⑤	19,100
		ラインテープ代 ⑥	7,500
		コピー代(案内) ⑦	470
		コピー代(スケジュール) ⑧	555
		救急用品 ⑨	477
		消毒液 ⑩	598
		飲料・茶菓子代 ⑪	1,514
		飲料・茶菓子代 ⑫	356
		審判・スタッフ昼食代⑬	16,000
		審判代 ⑭	68,000
合 計	163,599	合 計	163,599

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	活動名	平成30年度東備面播定住自立圏 交流ターゲットバードゴルフ大会
-----	------------------	-----	------------------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域)	② 実施期間
今種川河川敷ターゲットバードゴルフ場	自 平成30年11月3日 至 平成30年11月3日
③ 実施体制	備前市
・団体構成員 40名	・一般参加者 12名
・	・ボランティア 2名
・	・上郡町 0名
	計 名
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)	
30年3月25日	協会理事会にて定住自立圏について協議
4月1日	協会総会にて定住自立圏事業計画を決定
4月10日	同事業推進申請書を提出
4月21日	同事業の審議会に出席
4月23日	関係先への事業推進について打合せスタート (赤穂市・上郡町・備前市)
5月7日	大会運営等打合せ(赤穂市スポーツ推進課)
5月27日	5月度月例大会より一般参加者と練習及競技スタート
6月4日	大会運営等打合せ(赤穂市スポーツ推進課)
10月8日	備前市スポーツフェスティバルに参加 ターゲットバードゴルフのデモンストレーションを実施し 本大会(11月3日)の説明
10月28日	会員にて大会コースの整備
11月2日	大会開催準備
11月3日	大会開催

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

備前市、赤穂市の会員と一搬参加のもと天候にも恵まれ和気あいあいとターゲットバードゴルフのプレーを通じて親睦と交流を図ることが出来た。残念ながら今回は、上郡町の参加者がなかった。

② 今後の課題

備前市、上郡町には専用のターゲットバードゴルフコースが無いため赤穂市千種川河川敷コースを積極的に開放して、大会のみならず日常の練習等で交流を、備前市、上郡町に出かけ、デモンストレーションを実施し、ターゲットバードゴルフの面白みを体験してもらえる様努力したい。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
定住自立圏支援交付金	185,000	審判員謝礼 14名×3,000	① *42,000
大会参加料 30名×300	9,000	審判員昼食購一式	② 24,064
協会より補填	80	消耗品代	③ *39,500
		印刷代	④ *7,755
		賞品代	⑤ *46,761
		デモンストラ-ション 経費 11名×3,000	⑥ *33,000
		保険料	⑦ *1,000
合 計	194,080	合 計	194,080

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	御崎灯台を守る会	活動名	灯台フォトコンテスト協賛事業
-----	----------	-----	----------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 赤穂市御崎の灯台周辺地域	③ 実施期間 自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 2 月 28 日
④ 実施体制 ・団体構成員 10 名 ・一般参加者 ^{フォトコンテスト11件の応募 未場者 300名} 名 ・ボランティア ^{スタンプラリー参加者 5,000名} 5 名 ・ _____ 名 ・ _____ 名 計 _____ 名	
⑤ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)	
4月8日(日) 御崎灯台を守る会第1回例会	
4月24日(火) 御崎灯台内部見学会。関係者による内部公開のための下見	
5月1日(火) デジタル版フォトコンテストを Web で募集開始 http://todaigaoka.com/photocontest.html	
5月13日(日) 御崎灯台を守る会第2回例会。年に一度の竹切りパーベキュー https://www.facebook.com/events/628634787473637/	
6月10日(日) 御崎灯台を守る会第3回例会	
7月14日(土) 御崎灯台を守る会第4回例会 9時にきらきら坂の下に集まって、海岸のゴミ拾いをしながら打ち合わせする	
7月17日(火) 海上保安部との打ち合わせ	
8月12日(日) 御崎灯台を守る会第5回例会	
9月5日 デジタル版フォトコンテスト募集終了	
9月18日(月) 御崎灯台を守る会第6回例会。業者さんとベンチ&道標の設置 ^{参加者 構成員2名 業者2名}	
9月19日(火) 業者による灯台周辺草刈り	
10月5日 デジタル版フォトコンテスト入賞作品発表。 御崎カフェにて展示会。12月末まで。 Fフリースペース 期間中未場者 300名	
11月17(土)18(日) 御崎スタンプラリー ^{期間中未場者 5,000名} 御崎活性化委員会と共催で灯台周辺のスタンプラリーを実施 17日夜には伊ワツヒメ神社境内でキャンドルナイト&ライブ https://note.mu/todaigaoka/n/n2bdb167f5147?magazine_key=me4fe181d5bde	

事業実績書

項目	内容	留意点
事業名	晩秋赤穂御崎めぐり	
団体名	御崎地区活性化委員会	
実施場所・地域	田淵氏庭園周辺、神社・旅館街、かんぽの宿赤穂まで	
実施日	11月17日(土)～18日(日)	
参加者	対象者	
	人数	17日 2,500人、18日 2,500人、計 5,000人
	参加費	■無料 □有料 (円)
事業の内容	<p>1. 国指定名勝の田淵氏庭園一般公開</p> <p>2. 御崎マルシェを通常、月に1日を2日間開催</p> <p>3. 神社での奉納ライブ(17日夜) 出演者5組 うたがたり ことね・みさきBAND・虹色ア パートメント・マカロン60・安則トリオ</p> <p>4. キャンドルナイト(17日夜) キャンドルを700 本作製し、神社とライブ会場周辺に設置し点灯</p> <p>5. スタンプラリーを2日間実施 20カ所のスタンプ設置場所を設け押印数に 応じて景品を提供</p>	<p>※具体的な内容(プログラムや出演者、講演テーマ、講師等)を箇条書してください</p>

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

当初予定していた灯台周辺の整備は順調に行われ、道標とベンチはたいへん好評で、灯台を訪れる人も増えた模様である。ただ周辺に人気が無いので、どれだけの人が実際に灯台を訪れているかは不明である。

たまたまメンバーが訪れた時に観光客がいれば、話を聞くことができるというレベルである。

デジタル版フォトコンテストについては、予定通り Web サイトで募集し、当初 8 月末を終了としていたが、昨年夏は大変な猛暑であり写真を撮りに行くのが難しいとの要望があり、9 月 5 日まで期日を延長した。結果は素晴らしい写真を選ぶことができ、12 月末までパネル印刷した作品を御崎カフェ 1 階で展示した。

灯台内部公開は保安庁が開催不可能とのことで、検討の結果、当初灯台で行う予定であったキャンドルナイトを御崎活性化委員会主催のスタンプラリーイベントと共催で、イワツヒメ神社境内で開催した。

② 今後の課題

元々、御崎灯台を守る会は、姫路海上保安部から灯台記念日記念事業としてフォトコンテストをやることになり、関連イベントで地元の人の協力を仰ぎたいという話の受け皿として有志が集まって結成したものである。

しかしながら大変残念なことに、保安部と赤穂市の担当者が代わり、提案されていた灯台内部公開は不可能といわれ、私たちの地元受け皿としての存在意義はなくなってしまった。

すでに実施していた灯台周辺整備とデジタル版フォトコンテストは予定通り終了したが、来年以降の灯台を守る活動は不可能だと判断し、地元で立ち上げの準備をしていた御崎活性化委員会に合流することにし、共同で御崎地区スタンプラリーとキャンドルナイト&ライブコンサートを実施した。これは多数の市民や観光客が訪れ大成功であった。

次年度以降は御崎灯台を守る会は解散し、メンバー有志は御崎地区活性化委員会として活動することになりました。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
会員寄付	39,404 //	*【周辺整備費用】	
支援金	179,000 //	清掃用道具 帚、ゴミ袋、鎌等	6,073 ① /
		ベンチ	6,903 ② / 7,000 ③ /
		道標	26,784 ④ /
		伐採業者依頼	20,000 ⑤ / 15,000 ⑥ /
			*【計 81,760】 //
		*【フォトコン費用】	
		Web 作成メンテナンス	5,400 ⑦ / 5,400 ⑧ /
		写真印刷用紙、インク	33,480 ⑨ /
		展示用機材等	3,240 ⑩ /
		賞品	3,000 ⑪ / 5,000 ⑫ / 7,000 ⑬ / 3,000 ⑭ /
		会場費	10,000 ⑮ /
			*【計 75,520】 //
		*【記念日イベント】	
		スタンプラリー分担金	50,000 ⑯ /
		スタンプラリーチラシ 企画費	8,640 ⑰ /
			*【計 58,640】 //
		*振込手数料	*【計 2,484】 ⑱ //
合 計	218,404 //	合 計	218,404 //

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	音楽療法研究会ほっとたいむ	活動名	ミュージックセラピーコンサート (介護予防)
-----	---------------	-----	---------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） ○伊里公民館（備前市） ○上郡生涯学習センター（上郡町）	② 実施期間 平成30年11月15日 平成31年1月27日
③ 実施体制 ・団体構成員 6名 ・一般参加者 150名 ・ボランティア 名 ・ 名 計 名	上郡町 70名 備前市 80名
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） 《第4回ほっとたいむMTC in 備前》 ○H30年5月15日：備前担当者との打ち合わせ 開催日時：平成30年11月15日午後1時30分～ 場所：備前市伊里公民館 賛助出演依頼：伊里歌声サークルの皆さん 協賛：伊里生活文化振興会、備前市地域包括センター ○チラシ・プログラム作成（8月） 原本作成：稲家 印刷：稲家 ○H30年10月19日：伊里公民館長さんとの打ち合わせと会場下見 当日の日程、準備について 会場設営の計画 ○コンサートにむけての練習：毎週火曜日10:00～12:00 赤穂中央公民館 ○本番実施日：平成30年11月15日（木）13:30～15:15 備前市伊里公民館 大集会室 ○内容：プログラム参照 《第4回ほっとたいむMTC in 上郡》 ○H30年6月1日：上郡担当者との打ち合わせ 開催日時：平成31年1月27日午前10時30分～12時 場所：上郡生涯学習センター 大ホール 賛助出演依頼：平家コーラスの皆さん ○チラシ・プログラム作成（9月） 原本：稲家作成 ヤマミチ印刷さんへ印刷依頼（10月初旬・11月末完成） ○上郡生涯学習センターさんへ会場申し込み 上郡高齢者大学の皆様へのチラシ配布依頼 上郡地区各公民館、社会協議会様へのポスター、チラシ配布依頼 ○平家コーラスさんとの合同練習：平成31年1月17日午後1:30～高田公民館 ○本番実施日：平成31年1月27日（日）10:30～12:00 上郡生涯学習センター 大ホール ○内容：プログラム参照	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

- 備前市でのコンサートは初めてだったので、どれぐらいのお客様に来ていただけるのか心配だった。しかし、地域包括支援センター・公民館認知症予防講座とほっとたいむとの協働でコンサートを開かせていただいたので、満席となった。参加していただいた皆様と一緒に体操したり歌ったり、楽器を鳴らしてもらったり等して、『音楽で楽しく』を実感していただいた。

- 珍しい楽器（トーンチャイム）に触れていただき、大変喜んでいただいた。

- 歌いながら体を動かすこと（手拍子や卵マラカス等で）によって、楽しみながらの脳トレーニングとなった。

- 懐かしい歌（昭和の歌）を歌うことで、昔を回想し、懐かしみながら歌を楽しんでいただけた。

- 各会場ともアンケートをとらせていただき、参加していただいた方ほぼ全員から、「誤嚥予防」「脳トレーニング」「懐かしい思い」「すっきりした」などの反応があり、効果を感じた。

② 今後の課題

- それぞれの地域（高齢者の方を中心に）の方々に、「ほっとたいむミュージックセラピーコンサート」（参加型コンサート）の開催をどのように声かけし、知っていただけるのか、どのように広めていけばよいか等、広報活動が課題である。

- 高齢者の方々が足を運んでいただける会場、場所の選択、開催日の設定（特に時期の考慮）
- それぞれの地域の参加者様の年齢層に合わせたプログラム構成の検討

- アンケート結果による要望に応えていきたい。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
市より	¥144,000 /	会場費*	¥12,000 1 /
		印刷製本費*	¥57,864 2 /
		消耗品費* (内 正代 50円)	¥5,276 3 //
		楽器活動費*	¥58,860 4 //
		講師料*	¥10,000 5 //
合 計	¥144,000 /	合 計	¥144,000 /

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	赤穂市テニス協会 備前市テニス協会	活動名	東備西播テニス交流大会
-----	----------------------	-----	-------------

1 事業の実施内容

実施場所（地域） 赤穂海浜公園テニスコート	② 実施期間 平成 30 年 7 月 22 日
③ 実施体制 ・団体構成員 7 名 ・一般参加者 23 名 ・ボランティア 約 0 名 ・外部コーチ 3 名 ・見学者（子供の両親等） 約 20 名 計 約 50 名	
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。）	
平成 30 年 4 月 21 日	第一回実行委員会（交付申請に向けた打合せ）
平成 30 年 4 月 21 日	イベント等事業推進支援 審査会出席
平成 30 年 5 月 2 日	第二回実行委員会（募集要領等打合せ）
平成 30 年 6 月 5 日	大会募集開始
平成 30 年 6 月 20 日	大会募集締切
平成 30 年 6 月 23 日	第三回実行委員会（当日の役割分担等打合せ）
平成 30 年 7 月 8 日	雨天→予備日へ
平成 30 年 7 月 22 日	テニス交流大会実施 実施時間 9～15 時 (内容) ① 午前はテニス教室開催 ② 午後は交流試合開催
平成 30 年 7 月 22 日	第四回実行委員会（参加者及び収支まとめ等）

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

東備西播定住自立圏民間イベント事業として、「東備西播テニス交流大会」を実施した。本年も赤穂市テニス協会及び備前市テニス協会との共同運営により開催した。

今年度は、当初実施予定日であった7月8日が大雨となり開催日を7月22日に順延したため参加が少なくなった。

人数が若干少なくなったものの、ジュニアを中心した、外部のテニスコーチを招いたテニス教室、交流試合及び「サーブによる賞品当てイベント」の実施により、参加者に好評を得た。

今後も参加者の増加に取り組み、東備西播地域の活性化に取り組んでいきたい。

② 今後の課題

今年度は、大雨の影響があり、参加人数が減少したもののイベントは充実し、参加者には好評を得た。

本テニス交流大会は、年1回の開催のみであるので、他の大会とどう連携させてジュニアのテニス人口を増やしていくかを検討していきたい。

→赤穂市民体育祭大会、赤穂オープンシングルス大会にジュニアの部を作り大会運営を実施しジュニアの部の活性化を図る。

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
参加料 500×23 組	11,500.-	*コート代および	
支援金	121,919.-	設備使用料	15,000.- ①
		*ボール、賞品代	49,800.- ②
		*外部コーチ代	50,000.- ③
		*参加者への飲み物 (熱中症対策)	9,121.- ④
		*各協力者日当等	7,148.- ⑤
		*障害保険	2,350.- ⑥
合 計	133,419.-	合 計	133,419.-

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実施報告書

団体名	赤穂軟式野球協会	活動名	第9回東備西播定住自立圏中学校軟式野球大会
-----	----------	-----	-----------------------

1. 事業の実施内容

①実施場所(地域) 赤穂城南緑地野球場	②実施期間 自 平成30年9月1日 至 平成30年9月2日
③実施体制	
・団体構成員 190名	・一般参加者 名
・ 名	・ボランティア 名
・ 名	・計 190名
④事業実績(実行委員会や準備作業の実施等主な実施日、内容をご記入ください。)	
1. 打ち合わせ 平成30年3月20日～平成30年9月末(4回)	
(2市1町野球協会会議をする)	
2. 抽選会 平成30年8月10日(金)赤穂市民会館 第3会議室 午後7時	
3. 大会準備 平成30年8月26日～31日	
4. 大会 平成30年9月1日(土) 平成30年9月2日(日)	

2 事業実施の成果と今後の課題

①事業実施の成果

※本大会開催することによって軟式野球中学校技術交流、備前市以外

牛窓佐伯中学校とも選手交流

※野球部員減少(少子化)による1チーム4中学校合同し構成にて試合に

参加できた

※2市1町の審判員の技術の向上と情報交換

②今後の課題

※少子化で野球人口減少、幼児から楽しく野球に参加できる場を提供する

※第10回開催で終了する 出来れば2市1町記念大会の開催と以後対策

※各中学校少数野球部員の育成と大会参加出来る対策

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
定住自立圏支援交付金	144,000円	・ 審判員経費	* 92,000円 1
各協会負担金	53,503円	1日目 (6試合)	
		(赤)	
		5,000円 × 6名 = 30,000円 1-1	
		(上)	
		5,000円 × 6名 = 30,000円 1-2	
		2日目	
		(赤)	
		3,000円 × 4名 = 12,000円 1-3	
		・ 役員交通費	
		2,000円 × 10名 = 20,000円 1-4	
		(1名1試合でカウント)	
		・ 大会関係者 昼食代	20,300円 2
		・ プログラム作成	* 9,500円 3
		・ 飲み物	* 3,263円 4
		・ 通信費	* 2,460円 5
		・ 球場費	* 6,600円 6
		・ ウグイス費	* 19,000円 7
		・ 会議費	* 5,400円 8
		・ 雑費(ボール・商品他)	* 38,980円 9
合 計	197,503円	合 計	197,503円

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	赤穂市地域活動連絡協議会	活動名	「あこうオレンジリボンキャンペーン2018親子ふれあい広場」
-----	--------------	-----	--------------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂ハーモニーホール	② 実施期間 自 平成 30年 4月 1日 至 平成30年12月31日
③ 実施体制 ・団体構成員 5 名 ・一般参加者 300 名 ・ボランティア 20 名 ・ _____ 名 ・ _____ 名 計 325 名	
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） 小ホール ゆかいなコンサート 歌のお姉さん&マジック 赤穂小学校金管バンドクラブ 展示室 遊びブースは、手作りゲーム（ワニワニパニック・魚釣り、屋台ごっこ、木の実のクラフト、児童虐待防止啓発メッセージボード作成、パズル など トランポリン体験、竹とんぼづくり キャンドルづくり 啓発グッズのマスクとチラシの配布、 赤穂城ライトアップ	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

今年は場所を海浜公園から赤穂ハーモニーホールに変更。

より多くの方に子ども虐待防止のオレンジリボン運動を知っていただき、子ども虐待問題について身近な問題として捉え、地域での子育て応援について考えるきっかけになるように、子ども虐待防止の象徴である「オレンジリボン」を広める全国的な市民活動として赤穂市で開催しました。

「オレンジリボン」には、子ども虐待の現状を広く知っていただき、子ども虐待をなくしていこう、子どもを救うため、ひとりひとりにできることを考え行動しよう、そして虐待を受けた子どもたちが幸福になれるように、との願いがこめられています。ファミリーコンサートや遊びブースにたくさん方に参加してもらい児童虐待防止の啓発を行うことができました。

上郡は、児童館にポスターを掲示し、コンサートチケットを30枚（親子60名）配布
備前市は、子育て学習センターにポスターを掲示し、コンサートチケット50枚（親子約100名）配布いたしました。

② 今後の課題

今後の課題は、来年度においては、行政とももっと協力しながら事業ができたと思います。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
定住イベント事業	196,000 /	謝金 /	240,000 ※① /
県政 150 周年	150,000	材料等消耗品 /	26,713 ② /
NPOオレンジリボン	300,000	会場費 /	52,684 ③ /
自主財源	18,184	郵送料(備前・上郡案内)	4,984 ④ /
		ボランティア交通費 /	24,000 ⑤ /
		保険料 /	1,500 ⑥ /
		資料・チラシ・ポスター /	125,415 ⑦ /
		印刷費	
		看板・Tシャツ制作費 /	90,000 ⑧ /
		イベント企画進行委託 /	50,000 ⑨ /
		費	
		音響リース /	45,000 ⑩ /
		食糧費	3,888 ⑪ /
合 計	664,184 /	合 計	664,184 // /

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	おすそわけ Cafe てとて	活動名	おすそわけ Cafe てとて
-----	----------------	-----	----------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 赤穂市	② 実施期間 自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月13日												
③ 実施体制 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">・団体構成員</td> <td style="text-align: center;">5名</td> <td style="text-align: center;">・一般参加者</td> <td style="text-align: center;">0~50名</td> <td style="text-align: center;">・ボランティア</td> <td style="text-align: center;">0~10名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">・</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">・</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">2~60名</td> </tr> </table>		・団体構成員	5名	・一般参加者	0~50名	・ボランティア	0~10名	・	名	・	名	計	2~60名
・団体構成員	5名	・一般参加者	0~50名	・ボランティア	0~10名								
・	名	・	名	計	2~60名								
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) <p>月3回程度、コミュニティカフェを開催し、そのうちの1回を認知症カフェや自主イベントの開催日としました。また、認知症啓発イベントにブース参加しました。</p> <p>【コミュニティカフェ】 内容：アロマハンドトリートメントが体験できるカフェとして、来られた方々による「思いやり」「笑顔」「香り」「知恵」のおすそわけできる場所を提供しました。来られた方のお話から、はちみつと言えばホットケーキを焼いたり、育てている野菜を使ってお料理したり、バレンタインにはチョコレートフォンデュをしたりしました。</p> <p>開催日：4月11、25日/5月9、23、30日/6月13、27日/7月11、25日/8月8日/9月5、26日/10月10、24日/11月14、28日/12月12日/1月23日/2月13、27日/3月13日 (全22回)</p> <p>参加人数：2~15名程度 $\frac{315}{15 \times 21}$</p> <p>【認知症カフェ】 内容：本の紹介や相談、体操などをし、認知症についての啓発活動をしました。</p> <p>開催日：4月4日/5月2日/7月4日/8月1日/10月3日/11月7日/12月5日/1月9日/2月6日 (全9回)</p> <p>参加人数：2~15名程度 $\frac{135}{15 \times 9}$</p> <p>【自主イベント】</p> <p>◎6月6日 『認知症×アロマ』 内容：①認知症のおはなし～認知症になっても安心して暮らせる街に～ 講師：作業療法士 藤井孝枝 ②認知症の予防・緩和に効果的とされるアロマオイルについて 講師：三木永子 参加人数：17名</p> <p>◎9月12日 『認知症×救急・防災』 内容：①いざという時、あなたならどうしますか？ 講師：救急救命士 宍戸淳二 ②アロマペンダントづくり体験 参加人数：16名</p>													

◎3月6日 『認知症サポーター養成講座 in てとて』

内容：①認知症サポーター養成講座

～認知症のことを知って、認知症の方にやさしいひとになりませんか～

講師：作業療法士 鍛治実

参加人数：14名

【イベント参加】

10月28日『RUN伴2018 in あこう』にブース参加

内容：応援旗の作製、アロマペンダント作製、アロマハンドトリートメント体験、認知症関連の本の紹介、認知症の相談など。

参加人数：50名程度

赤穂・上郡・備前の参加人数は分からないが、10月28日の
『RUN伴2018 in あこう』に1番参加があったらしい。
他のイベントは、数人だったらしい。（三木さんより）

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

子育てほっとステーションを併設している古民家 t u n a g u を借りることで、お子様からお年寄りまで来ていただき、多世代交流の場にもなりました。

そして、若い世代の方にも、認知症について考える機会を作ることができました。

また大きなイベントに参加することによって、たくさんの方に「おすそわけ Cafe てとて」の活動を知ってもらうことができました。

来ていただいたみなさんで、「おすそわけ Cafe てとて」がどんな場所であればよいかなど、真剣に意見を出し合うこともできました。多世代で、安心して暮らせるまちづくりを考える貴重な機会になったと思います。

② 今後の課題

自主イベントでは、上郡町、備前市への周知が難しかったです。そのため上郡町、備前市の方にほとんど来ていただくことができず、残念でした。

「RUN 伴 2018 in あこう」という大きなイベントでは、赤穂市での開催でしたが、多方面から来られる方も多かったので、「おすそわけ Cafe てとて」の活動を知ってもらうためにも、上郡町、備前市のイベントにも積極的に参加していきたいと思います。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
東備西播定住自立圏民間イベント等事業推進支援金	182,000	*消耗品費	51,402①
		*保険料	3,000②
		*広告宣伝費	33,556③
ボランティア災害共済制度加入奨励事業補助金	1,250	*謝金	40,000④
		*通品費	164⑤
		*委託費	10,000⑥
参加費	57,400	*会場費	60,000⑦
		助成対象外	53,749⑧
自己負担金	11,221		
合 計	251,871	合 計	251,871

198,122

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	RUN伴あこう実行委員会	活動名	RUN伴兵庫ゴールイベント
-----	--------------	-----	---------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 赤穂市文化会館、図書館、総合福祉会館駐車場	② 実施期間 自 平成30年 4月26日 至 平成30年10月28日
② 実施体制 ・団体構成員 6名 ・一般参加者 500名 ・ボランティア 94名 ・ 名 ・ 名 計 600名	
③ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) 平成30年4月26日: 実行委員会 企画会議 (以降、月に一回開催)、会場手配 平成30年5月16日: 実行委員会 RUN伴のエントリー呼びかけ 平成30年7月24日: 実行委員会 フライヤー作製 平成30年9月5日: オレンジライトアップの広報チラシ配布 平成30年9月21日: 世界アルツハイマーデーで赤穂城隅櫓オレンジライトアップ 平成30年10月19日: 実行委員会 企画の最終確認 ルート確認 平成30年10月27日: 実行委員会 前日準備 平成30年10月28日: 事業当日 【研修会】 ・救命 (心肺蘇生、AED) 講師: 宍戸淳二氏 ・ぼくときみ～みんな夢を抱えて～ 講師: 竹中正彦氏、ぴーず&ピース 【ブース出展】 ・認知症カフェ ・障がい者就労支援施設 ・兵庫県認知症の人と家族の会 ・赤穂市介護者の会 ・赤相薬剤師会 ・相生・赤相市郡歯科医師会 ・兵庫県作業療法士会西播磨ブロック ・兵庫県社会福祉士会西播磨ブロック ・赤穂市リハ専門職地域支援協議会 ・福祉用具関連事業所 【RUN伴 タスキリレー】 ・赤穂市内の介護事業所、福祉事業所でタスキリレーを実施。最終的には兵庫各地のランナーと合流し赤穂市文化会館に集結。 【ゴールセレモニー】 ・金管バンド演奏 ・赤穂市副市長挨拶 ・兵庫実行委員長挨拶 【映画「ケアニン」の上映会】 【特別講演会】 講師: 加藤忠相氏 【オレンジライトアップ】 当日およびプレイベントとして9月21日の世界アルツハイマーデーに赤穂城隅櫓をオレンジ (認知症啓発カラー) にライトアップ。	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

過去3年間、国内最大級の認知症啓発イベントであるRUN伴（認知症の人と伴にタスキを繋ぎ北海道から沖縄までを縦断するタスキリレー）にエントリーし、赤穂市内でタスキリレーおよび兵庫県のゴールイベントを赤穂市にて開催してきた。

しかし、今まで上郡町、備前市ではRUN伴は開催されていなかったため、4年目である今年度は、上郡町、備前市にもタスキを繋げられるようRUN伴のエントリーを広く呼び掛けた。

その結果、今回は上郡町もRUN伴タスキリレーに初参加し、多くの参加者を得て、町民に広く認知症の啓発ができた。そして、赤穂にもタスキを繋ぐことができた。また、ゴールイベント（ケアニン上映会）には赤穂市140名、備前市18名、上郡町36名の参加者があり、認知症に関わる専門職だけでなく、一般市民の方に対し、このイベントを通じ、認知症があっても誰もがすみやすい地域にするためには自分には何ができるのか、専門職だけでなく地域住民が自分ごととして捉え共に考えるキッカケになったと考える。

② 今後の課題

今回、ゴールイベントには備前から参加があったが、タスキリレーのエントリーはなかった。その要因としては、県単位で実行委員会が設けられており、西日本暴雨災害の影響等もあり岡山の実行委員会との調整がつかなかった。

来年は今回の反省を活かし、早期から県単位での実行委員会での連絡調整を図り、備前からもランナーを輩出し、上郡、赤穂、備前とタスキを繋ぎたい。

そして、「認知症」をキーワードに各市町でシームレスな連携が図れるようにしたい。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
東備西播定住自立圏民間イベント等事業推進支援金	193,000	*印刷製本費 (チラシ)	18,727 ①
		*消耗品費	10,390 ②
		*謝金	60,000 ③
県政 150 周年記念県民連携事業助成金	150,000	*上映料	116,640 ④
		印刷製本費 (ポスター)	7,063 ⑤
参加費 (@500×183名)	91,500	使用料	139,674 ⑥
		保険料	5,000 ⑦
自己負担金	3,607	その他助成対象外経費	80,613 ⑧
合 計	438,107	合 計	438,107

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと